

「あの日」を忘れない!

地震が起きる時間や場所によって被害の状況は様々です。通勤・通学中、
食事中、就寝中…。地震はまさに「今」、起こるかもしれません。

2011年(平成23年)

■東日本大震災

3月11日午後2時46分
マグニチュード：9.0 最大震度：7

死者約2万人、行方不明者2,500人以上、
住家全壊約12万棟(令和2年3月1日現在)

「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)について(第160報)」(消防庁災害対策本部)



▲津波被害(東日本大震災)※

2016年(平成28年)

■熊本地震

【1回目】4月14日午後9時26分
マグニチュード：6.5

【2回目】4月16日午前1時25分
マグニチュード：7.3

国内において観測史上初めて、
同一地域で2度連続して震度7を観測



▲住家被害(熊本地震)※

2018年(平成30年)

■大阪府北部地震

6月18日午前7時58分
マグニチュード：6.1 最大震度：6弱

この地震で学校のブロック塀が倒壊したことを
受け、足立区でも区有施設のブロック塀を調査



▲土砂災害(北海道胆振東部地震)
写真提供：北海道

■北海道胆振東部地震

9月6日午前3時7分
マグニチュード：6.7 最大震度：7

民家を巻き込む大規模な土砂災害が発生

20XX年 今後30年以内に70%の確率で発生
首都直下地震が起きたら足立区では…

<想定される被害>

【都心南部直下地震】マグニチュード7.3、冬の夕方(午後6時)、風速8m/秒の場合

	東京都	足立区
死者数	6,148人	795人
負傷者	93,435人	8,507人
避難者	2,993,713人	286,932人
建物全壊	82,199棟	11,952棟
地震火災 (倒壊建物を含む)	118,734棟	13,546棟

令和4年5月「首都直下地震等による東京の被害想定報告書」(東京都防災会議)

<足立区の被害の特徴>

火災

細い路地に木造住宅
が立ち並ぶ地域では、
火災の消火活動が困難
となり、大きく燃え広が
る恐れがあります。



▲住家被害と延焼被害の様子
(阪神・淡路大震災)※

建物倒壊

耐震性が十分でない
老朽化した建物は、倒
壊の危険性がありま
す。



▲住家被害(阪神・淡路大震災)※

液状化

砂や粘性土でできた軟弱
な地盤が厚く堆積しており、
地震の揺れが大きくなりや
すく、区内ほとんどの地域で
液状化の可能性があります。



▲液状化によるマンホールの
浮き上がり(東日本大震災)※

こんなことが起きる前に、「今すぐ」、
災害への備えをはじめましょう。

※印の写真提供：一般財団法人消防防災科学センター 災害写真データベース

